



セネガルの子どもたちに教育を！

バオバブの会 ニュースレター

2017年 No.2
(通巻50号)
4月23日発行

年次総会報告

去る3月5日(日)、相鉄線星川駅近くのほ도가や市民活動センター(愛称:保土ヶ谷アワーズ)で、2017年度年次総会を開催しました。2016年度活動報告の中では、写真や動画を使ってのセネガル訪問報告を行いました。終了後には、ディウフ会長手作りのパームオイルシチュー(たくさんの野菜とチキンが入ったシチューで、とても美味しかったです!)をいただきながらの懇談もできました。

以下、主な内容をご報告いたします。

(1) 2016年度活動報告

国内活動

*「よこはま国際フォーラム2016」2月7日(日) JICA横浜、「あーすフェスタかながわ2016」5月14日(土) 15日(日) あーすプラザ、「アフリカ日比谷フェスティバル」7月9日(土) 10日(日) 日比谷公園、「第6回GOSPEL FOR PEACE」8月6日(土) 目黒パーシモンホール、「よこはま国際フェスタ2016」10月9日(土) 10日(日) グランモール公園に参加しました。

*バオバブの会自主企画として「福引2016」を開催し、10月から福引き券を販売、12月4日(日)には抽選をかねた「バオバブパーティー2016」を行いました。

*ニュースレターは、6号、発行しました。

国外活動

*昨年と同様、サルム・ジャネ小学校、サーバシ・チャム小学校、ンジャゴ小学校、サルム・ジャネ中学校、クール・マジヤベル小学校、ンジャウ・マリック小学校、サーバシ・チャム アラブ学校、障がい児を支援する教師の会、バンプガール・マサンバ小学校、ンガティ・ナウデ小学校、ンガティ・オルディ小学校、ユネスコ・クラブ(クール・マジヤベル聾啞学校)、ジム・モマール・ゲイ中学校に定期支援金を送りました。

*ンジャゴ小学校を卒業し中学校に進んだアラサン・ゲイ君に、車椅子を贈りました。

*3月末より4月初めまで、セネガルを訪問しました。

(2) 2017年度活動計画

国内活動

*「あーすフェスタかながわ2017」、「第7回GOSPEL FOR PEACE」、「アフリカ日比谷フェスティバル」、「グローバルフェスタ2017」などに出展を予定しています。

*会主催イベントとして、「チャリティライブ2017」を11月末に開催、また、ホームページの更なる充実を予定しています。

国外活動

*定期支援金については、支援開始後3年を目安に減額の方針にそって、サルム・ジャネ小学校、サーバシ・チャム小学校、ンジャゴ（第一）小学校、クール・マジヤベル小学校、ンジャウ・マリック小学校、障がい児を支援する教師の会、バンブガール・マサンバ小学校、ンガティ・ナウデ小学校、ンガティ・オルディ小学校に40,000円、サルム・ジャネ中学校に80,000円、サーバシ・チャム アラブ学校に20,000円、ユネスコ・クラブ（クール・マジヤベル聾啞学校）に50,000円、ジム・モマール・ゲイ中学校に100,000円を贈ります。

*新規支援校として、ンジャゴ第二小学校に50,000円、ンジャゴアラブ学校に30,000円を贈ります。

*自立支援としては、クール・アラサン・ジャロ小学校の鶏小屋計画支援を予定しています。

イベント報告

よこはま国際フォーラム2017

<http://yokohama-c-forum.org/wpforum/>

日時：2017年2月4日（土）・5日（日） 11:00～18:00

※バオバブの会のセミナーは5日（日） 15:20～17:10

会場：JICA横浜

主催：よこはま国際フォーラム2017プロジェクト

（主催者構成団体：（特活）横浜NGO連絡会／JICA横浜／ 公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE)／日本赤十字社神奈川県支部／（特活）教育支援協会）

国際協力・多文化共生に関わる団体がセミナーやワークショップを開く、毎年恒例のフォーラムです。バオバブの会はディウフ会長がイスラムについて講座を行ないました。今回はイスラムの「人権」と「女性」がメインテーマ。

人権軽視・男尊女卑に見えがちで西欧の社会の方が女性の権利が守られている、イスラム社会では遅れている、というイメージがありますが、実はイスラム社会では、その誕生時から女性の権利は保障され守られてきました。実際に、政治をはじめ様々な分野でたくさんの女性が活躍しています。（セネガルでも、軍事、司法、研究・教育、実業界、医療、スポーツ界などで女性が活躍）

しかし、宗派や国・地域等によって解釈に違いがある為、本来の意味と実情が違ってきていると思われます。バオバブの会では、その意味でも「正しい」イスラム教育が重要になってくると考え、イスラム系学校の支援も行っていることをお伝えしました。（田口）

イベント案内

あーすフェスタかながわ2017

<http://www.earthplaza.jp/earthfesta/>

日時：2017年5月20日（土）21日（日） 10:00（屋台村は11:00）～17:00

会場：地球市民かながわプラザ「あーすプラザ」

（横浜市栄区小菅ケ谷1-2-1／JR根岸線・本郷台駅から徒歩約3分）

主催：あーすフェスタかながわ実行委員会

世界の文化紹介や相互理解を目的とした恒例のフェスタに、今年もバオバブの会が参加します。出店場所は、池周辺の「世界屋台村」と、正面入口の階段を上がってすぐの「ワールドバザール」。前者ではおなじみのヤーサ（酸味のあるチキンシチュー）とマーフェ（ピーナッツソースのビーフシチュー）、揚げたてのアフリカドーナツなどを、また後者ではセネガルの女性グループ製作のバッグやポーチ、アフリカ関連絵本、小物などを販売。

ステージでは音楽やダンスなども楽しめます。

第7回 GOSPEL FOR PEACE

<http://www.gospel-sq.com/gp2017/>

日時：2017年6月3日（土）開場15:30、開演16:00、終演20:30

会場：新宿文化センター 大ホール

（東京都新宿区新宿6-14-1／地下鉄・新宿3丁目または東新宿より徒歩6～11分）

料金：前売り1500円、当日2000円（小学生以下は前売り・当日とも500円）

◆ チケット予約は gq2016@fospel-sq.com へどうぞ

主催：NGOゴスペル広場 <http://www.gospelhiroba.com/html/gospel.html>

「楽しい時間のために使ったお金が、別の場所で大きな力になる」を合言葉に、国際協力を目的に開かれるゴスペル・チャリティー・コンサート。全国各地の「ゴスペル広場ファミリーグループ」によるゴスペルをはじめ、カホン（ラテンアメリカの打楽器）の合奏も楽しめます。

バオバブの会はロビーにて、バッグ、アクセサリ、絵本などを販売します。

アフリカ日比谷フェスティバル

日時：2017年6月24日（土）25日（日） 10:00～21:00（10日は17:30まで）

会場：日比谷公園・噴水広場

主催：アフリカヘリテイジコミティー <http://africaheritage.jp/>

音楽、ダンス、食、絵画、ものづくり等々、アフリカのさまざまな文化を楽しめるフェスティバルが、今年も日比谷公園で開催されます。

バオバブの会も物販で参加する予定です。

★★★★ ことわざで開く、アフリカ文化の窓 ★★★★★

第22回 お年寄り王様

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

(訳・文責 水野)

去る4月4日、福岡市立中央市民センターで、57回目のセネガル独立記念日を祝うコンサートがありました。その際、シェール・ニャング駐日セネガル大使は、外交官としてのキャリアを通して知った多くの国々の中で、日本ほど、セネガルと共通した社会的価値観を持っている国はない、と語りました。

私もこのことを実感しています。日本にやってきて初めて日本語のレッスンを受けたときから、日本人とセネガル人は、同じような感覚と同じような言葉の決まり^{注1}を持っていることを感じていました。例えば、日本人もセネガル人も、控えめであること、礼儀正しく振る舞うことが大切だと考えています。また、話す相手の社会的な立場に、自分の言葉使いのレベルを合わせようとします。そして、相手の感情を傷つけないように気をつけます。たとえ、その相手と意見が合わなくても。

これら、日本人とセネガル人が共通に持っている価値観のひとつで、今回、私がお話ししようと思うのは、人々が、自分よりも年長の人、特にお年寄りを尊敬し、お年寄りの意見によく従っていることです。

この価値観は、セネガルでは、次のような二つのことわざに表れています。

<お前より年上の方は、お前よりも多くの経験を持っている。>^{注2}

<お年寄り王様。>

最初のことわざが語るのは、セネガル人も、日本人と同様、人生に於ける様々な経験を重要だと考えているということです。経験は財産(富)と同じであるので、自分よりも多くの経験を重ねている人は、尊敬される権利がある、と考えるわけです。また、日本では、例えば学校や会社で、若い人は、自分よりも年長の人を「先輩」と呼びます。セネガルでも、「MAK マック」^{注3}、またはフランス語で「MON ANCIEN モナンシアン」と呼びます^{注4}。

二つ目のことわざは、疑いなく、セネガルの社会の中で、お年寄りは特別な地位を保証されていることを表しています。現実の生活の中でも、次のようなことがごく普通に行われています。

*人々は、お年寄りの望みについてとやかく言いません。王様に対するように、お年寄りを満足させるように努めます。

*お年寄りが規則に違反しても、あまり批判しません。王様のそれのように、規則厳守から除外してあげます。

*お年寄りには、王様に対するように、丁寧に挨拶し、敬意を持ってへりくだり、穏やかな声で話します。

*お年寄りに何かをさしあげたり、お年寄りから何かをいただくときは、王様に対してと同じように、必ず、それを両手でしなければいけません。

このように、お年寄り王様なのです。王冠は載せていませんが。

これは、日本でも、かつてはごく当たり前に行われていたのではないのでしょうか^{注5}。

このような日本とセネガルに共通する価値観は、私が日本語を学ぶ過程でこれに気づいたとき、大変に興味深く思われました。しかし、このことが、私が日本社会に溶け込む中で、ここまで決定的な役割を果たすとは予想していませんでした。実際、このおかげで、私は、日本で新しくできたたくさんの親族と自然に交流し、生活するあらゆる場所で、周囲の人々と素晴らしい関係を築くことができました。また、日本語であ

る程度のコミュニケーションができるようになったときから、日本人の同僚とも、日々、あちらこちらで出会う人々とも、大した困難もなく、関わり合うことができるようになったのだと思います。

それだけではありません。私がバオバブの会を始めて、もうすぐ20年になります。バオバブの会をここまでやってこれたこと、また、会員や支援者の皆様が、私の思いを理解して、その実現を助けてくださっていること、そして、私の不器用さや、始終起こす間違いや失敗を、寛容に受け止め、許してくださることに、この日本とセネガルの価値観の共通性が大いに役立っていると思います。

私が、祖国でなく外国で暮らし、そこで年を取っていくという運命にあるとしたら、それが他のどこの国でもなく、日本であることを、本当に良かったと思っています。なぜなら、私は、ここ日本では、自分が外国人であるということをあまり感じないでいられるからです。それも、日本とセネガルには、上記のような共通する価値観が、また、それ以外にも多くの共通点があるからではないでしょうか。

注1：言葉の決まりという点では、私は、日本でも、セネガルと同じように、男性と女性で異なる言葉使いがあることに驚きました。

注2：< **Kula mak ëppla'i sagar** > このウォロフ語のことわざですが、文字通り訳すと、<お前より年上の人は、お前よりたくさんの古い衣服を集めている>となります。

注3：「**MAK マック**」はセネガルのウォロフ語で、いくつかの異なる意味を持っています。

形容詞として使う場合は、「年上の」です。

例< **A moo mak B.** > AさんはBさんより年上です。

名詞として使う場合は、「お年寄り」、「兄」または「姉」、そして、「先輩」を意味します。

例< **Mak la; dai naax.** > 彼はお年寄りで、記憶があやふやだ。

例< **Moctar mooi magi Reimei.** > モクタールはレイメイの兄だ。

例< **Kii mooi suñu mak ci ligeei bi.** > 彼は我々の職場の先輩だ。

注4：会社や学校など公の場所では、人々はしばしばフランス語で話しますので、フランス語の表現が、ウォロフ語のそれよりも広く使われています。それは、およそ1世紀半のフランス植民地時代の遺産です。しかし、植民地化も、この、年長者を敬うという価値観を絶やすことはできませんでした。

注5：最近、電車に乗っていると、明らかにかなりのお年寄りだと思われる人が立っているのに、若い人が平気で優先席(!)に座っている、という光景が、しばしば見られるようになりました。残念なことですが、社会的価値観の悪化でしょうか。セネガルでも、人々の心性は大きく変わってきていますが、年長者を敬い、お年寄りを大切にする、という心は、まだまだ健在だと思います。

バ オ バ ブ の 会

〒240-0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町993-35

TEL&FAX 045-373-0059 HP:<http://the-baobab.org>

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先:

三菱東京UFJ銀行八重洲通り支店普通口座no.1523673

ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215